



同友しずおか

4

VOL.461

題字：遠藤 在氏 榛原支部



私の逸品

町工場の技術と女性の感性の融合から生まれた逸品!

(株)山崎製作所

詳細はWEBで! (静岡支部)

静岡同友会

検索



特集

震災から6年、真の復興のカギは条例と「人間性の復興」 共同求人委員会 高校生向け企業・業界説明会「YourLife」

会員訪問記

忠内 秀敏氏 (有)丸安ラジエーター工業所・沼津支部
石川 哲也氏 (株)旭建設・富士宮支部

その他 主な内容

イントロセミナー in静岡、支部だより、青年部通信、新入会員・名義変更紹介、友達の輪

平成28年度 重点課題

- ① 経営指針の成文化率を高め、人を生かす経営の実践で、同友会型企业づくりを進めます。
- ② 中小企業憲章の精神をいかした中小企業振興基本条例の制定をめざします。
- ③ 早期に1200名会員を達成し、地域の活力を生み出す活動を推進します。

震災から6年、真の復興のカギは条例と「人間性の復興」

REES 東日本大震災復興視察ツアー
3月16日(木)～17日(金) 参加65名

3・11の東日本大震災から6年がたった3月16～17日、中同協は東日本大震災復興視察ツアーを開催し、18同友会および中同協から65名が参加しました。今回、静岡からこの視察に帯同した杉村征郎氏（杉村精工(株)・志太支部）に報告を頂きました。



私が本視察に参加した理由は三つあります。一つ目は、大震災・大津波・原発事故被災地の仲間との連帯と、風化させない方針を考えること。二つ目は、6年がたった現状を確認し、会員が果たしている役割を教訓化し運動に生かすこと。三つ目は、京都大学・岡田知弘教授の知見に学び、南三陸支部の条例の取組みを全同友会に知らせる、ということでした。

岡田教授の報告は、多岐にわたるものでした。いづれどこでも起こりうる大災害の時代に入った日本列島の歴史的考察。地域経済・社会の仕組みから復興の目標を捉える視点と「復興格差」が顕在化している現況。被災地同友会会員の事業再開率の際立った高さは「経営指針」と社員、そして地域住民の命を大切にされた初期行動の賜物ということ。地域と共にある自社の自覚。「震災前に条例があったらなあ」と悔やんだこと。復旧工事は大手が受注し地元の仕事が回らない実態。地域内再投資力、域内経済循環など自治体・住民・同友会企業との戦略的連携の具体例。これらについて教授は、分かりやすく話されました。その中でも印象的だった言葉は「人間性の復興」。これは、生存の危機を経験した人々だからこそ、至高の価値として「人間らしい」働き方と暮らし、それを支える地域、人間関係の再生を真に希求するものであり、被災者の主体的な人間性の復興によって、はじめて被災地の復興は十全なものになる、という意味です。

組織率日本一の南三陸支部、高野剛氏（株高野コンクリート）、阿部隆氏（阿部伊組）両社長の報告は、圧巻でした。数秒の差で命を保てた二人

の空前絶後の体験。「全てを失ったとき、全て平等になり、自分と他者への使命感が生まれた」絶望から立ち上がる途中で経験する国・県のやり方の不条理。「形を整えば復興か？そうではない」と二人は言い切ります。大災害以前から危機感持ち、経営指針を創る会に参加、「科学性・社会性・人間性」のなんたるかを学んでいたからこそ、行動の方向は自ずと決まります。復興特需の最中「三年後には、仕事なくなる。人がいなくなる。高齢者だけいる。会社がなくなる」と、自助・自立、主体性を持って会員を巻き込み、条例制定に向かいます。このとき、全国各地の条例制定過程の教訓、「定石」の学習が推進力となりました。



現地風景

東温市、別海町の理念条例、奥尻島津波災害・防潮堤造りの過ち等の視察、大学教授の整理された知見・指導など、南三陸支部の多くの仲間と一緒に着実に学んできました。南三陸の「中小企業振興基本条例」は、典型として各地へ普及していくことでしょう。

杉村 征郎氏（杉村精工(株)・志太支部）

「若者に向けた企業情報の発信は『未来への種まき』」



当日の様子

2017年3月28日(火)、島田市地域交流センター歩歩路(ぼぼろ)にて、共同求人委員会主催による志太・榛

原地域高校生向け企業・業界説明会「YourLife」が開催されました。この企画は、榛原地域における高卒求人のニーズと、島田商業高校からの「高校生に地域企業の情報を発信してほしい」というリクエストを元に、若者が主体的に人生選択を考える土壌を作ろうという思いもこめ、共同求人委員の伊藤崇洋氏(株オプジィ・榛原支部)、松下幸示氏(株スーパーラック・榛原支部)が中心と

なって立ち上げました。1月24日(火)には志太・榛原地域高校のうち8校の担当各位と説明・意見交換会を開催。また、2月13日(月)には参加企業向け説明・意見交換会を実施しました。

当日は榛原支部会員企業31社が出展、計8校から75名の高校生が参加する他、静岡県労働局やハローワークか



各ブースが工夫を凝らした展示でPR

らの視察もありました。企業の各ブースでは、仕事のやりがいや企業の存在意義、社長の姿勢など、一般的な合同企業説明会とは一味違う、同友会ならではの企業・業界説明が繰り広げられました。

求人を通じて会社は育つ！

共同求人委員長 金指 忠男氏(株オートベル・沼津支部)

求人・採用活動は、企業経営にとって不可欠な取り組みです。事業の存続・成長のためには、自社が求める人材基準(質)を満たしている人材を確保しなければなりません。必要な人数を確保できても、人材基準を満たさない人を採用すれば、活躍してもらえないどころか組織をかき乱したり、すぐ退職してしまいかねません。

また、求人・採用活動は人手・人材の確保だけでなく、会社の「質」を高める取り組みでもあります。求める人材の確保のためには、対象となりうる人たちに自社の展望や取組み、強みや魅力を伝えねばなりません。これは、経営理念やビジョン・経営指針はもとより、社員教育、評価賃金制度など様々な仕組みを見直し、会社が大きく変わる契機になります。そして、雇用の創出により地域社会へ貢献する取り組みにもなります。共同求人委員会では、

【参加高校一覧】(順不同)		
学校法人松葉学園 焼津高等学校	島田福祉高等学校	
学校法人藤枝学園 藤枝順心高等学校	静岡県立金谷高等学校	
静岡県立島田工業高等学校	静岡県立榛原高等学校	
静岡県立島田商業高等学校	静岡県立池新田高等学校	以上8校
【参加企業】(順不同)		
南アキノ	株スーパーラック	松本印刷株
岩崎電設株	すけろくどりーむ株	マルニうなぎ加工株
栄興株	株鈴木土産	株マルイチ
遠州工機株	大豊株	水野建設工業株
株小栗農園	司工業株	株本杉製作所
株オプジィ	南トシズ	本橋テーブ株
株カーメイト松下	株野川商店	株矢部製作所
光誠工業株	株榎南自動車学校	南ヤマセン
五大産業南	増田工業株	山本電機株
小塚建設株	株松浦ステロール工業所	南リアス
南静岡木工		
		以上31社

会員が採用の意義や必要な情報を学び、経営に具体的にいかし、自社の成長につなげてもらえるような運営に取り組んでいます。

地元の学生は地元にとくさん就職してほしい！ただそれだけ！

共同求人委員 伊藤 崇洋氏(株オプジィ・榛原支部)

雇用や採用の問題はどんな会社にもあります。何が問題なのか？何か手は打てないのか？待っていても変わるわけありません。そんな悩みを持って地元の高校に相談に行ってみると、高校側もどうすればマッチングの高い就職をさせるのか悩んでいるところでした。

とにかく学生は自分の就職についてもっと考え、企業はもっとアピールを！という単純な発想で生まれてきた企画です。

榛原支部に声をかけるとあっという間に30社集まりました。これが同友会のパワー！とても支えられました。その力に支えられ、いつしか学校にも覚えられ、気がついたら自分の会社もとても協力してくれました。

YourLifeは継続していかなければなりません。そして地域企業のエバンジェネリストになります！

支部だより

三島・沼津合同例会

アレルギーの子もない子も 一緒にケーキで笑顔に

3月27日(月) 三島商工会議所 参加72名



今年度の合同例会は三島支部設営で、報告者は沼津の洋菓子店シェ・ワタナベの渡邊隆太郎氏でした。

渡邊氏は、子供のころ重度のアトピー性皮膚炎でした。

製菓職人の父と栄養士の母が作ってくれたのが、アレルギーのある子供でも安心して食べられるクッキーでした。それは石のように硬く、ただただ甘いだけの物だったそうですが、友達と一緒に笑顔で甘いおやつを食べられるということは、とても幸せなことでした。

パティシエになった渡邊氏は、今年先代からお店を引き継ぎました。アレルギーケーキ・菓子という特殊性や間違えると命に係わることのため、どのように拡販や業務拡大をしていくか迷っていたところで同友会に入会しました。戦略が定まっていなかった状態で例会報告を受けてくれたのですが、参加者がいろんな角度からシェ・ワタナベが進むべき方向や自社の取り組みを話しあいアドバイスをして、報告者も参加者もとても充実した例会になったと思います。

長岡 善章氏 (㈱アーティスティックス・静岡支部)

伊東例会

社長になって一年。想いと行動

3月15日(水) ひぐらし会館 参加17名



報告者の土屋順史氏 (㈱土屋装飾) は、従業員としての17年間、業務を行う日々から家族会社としての限界を感じ独立に向け様々な準備を行ってきました。しかし、「土屋装飾」という社

名への想いやお客様への想いが徐々に強くなり、事業継承を受けることとなりました。

代表者となるにあたり社名への想いや社員への想い、地域への想い等を経営指針書として明文化し社内会議にて発表。社内での意思統一を行いました。

現在は自分自身の想いを伝え、事業拡張に取り組む日々を送っています。一年を振り返る中で経営指針書を再認識し、想いを再度社内に発信し新たな新事業販路拡大に向かっていくとの報告でした。

バズセッションは「経営転換期での対応」をテーマに行い、事業継承時に同じ業務を続けていく難しさを感じたこと、社内改革を行うために代表者としての想いを伝え社内の意思統一を図るこ

とが大切との意見や、社員との会話を大切にトップダウンからボトムアップの改革を行うとの意見も出ました。

改めて想いを伝えることの大切さを再認識できた例会となりました。

杉本 高英氏 (㈱杉本商店・伊東支部)

富士宮例会

他業種の経営者から学ぶ

3月10日(金) 志ほ川バイパス店 参加40名



上野義彦氏 (奥富工業)、中村仁氏 (社会保険労務士法人 シャイン)、渡邊卓氏 (㈱丸繁) の3名の報告でした。

上野氏の報告は、氏の優しい人柄が伝わってくるものでした。コンプレッサー、モーターリサイクル、非鉄金属、貴金属リサイクルを事業とする中、平成22年には、菓子・パン製造も事業として開始するなど、新たなことにも挑戦していく行動力に刺激を受けました。

中村氏の報告からは、仕事に対する熱意が伝わってきました。従業員を雇用し、法人化をし、仕事に前向きに取り組む、今後の目標を達成するためにひとつひとつステップアップされていて、とても凄いなと感じました。

渡邊氏は、自身のこと、会社のこと、業界のことを赤裸々に報告しました。食品問屋の業界から見た富士宮市の状況など、業界は違っても、身が引き締まるような気持ちになりました。

報告者の3名は、事業の状況は違いますが、各が会社の社長という立場で、その時々大きな決断をされていました。しっかりと決めることの大切さをあらためて感じました。

渡辺 陽介氏 (インテリア シン・富士宮支部)

志太例会

「条例ができて、何が変わるの？」

～誰が変えるの!? 私たちでしょ!～

3月16日(木) 藤枝市文化センター 参加32名

昨年末に静岡県、藤枝市で制定された中小企業振興基本条例を受け、条例をテーマに例会を開催しました。支部会員でもある松葉秀介氏が藤枝市の条例制定に大きく関わっており、その経緯、想いを熱く語ってもらいました。その後は、「これから私たちがすべきこと」というテーマでバズセッションを行いました。

条例は関係ないと思っていた事業者でも、遠いところの話ではなく、自分自身の努力によって、身近なものになるということに気づかせていただ

支部だより



きました。バズセッションにより、深い議論ができ、ほんやりとしていた条例について、不完全ながらも理解し、活用の糸口を一人一人が感じられたのではない

でしょうか。

自社の課題に向き合うことで、地域の課題に向き合うことにもつながります。自社の事業への積極的な取り組みは当然のこととし、さらなる経営環境の改善のために、条例を知る・活用することが、今後さらに求められると感じました。

山田 幹也氏 (株立花ガーデン・志太支部)

榛原第1例会

事業承継の在り方

3月9日(木) さざんか 参加32名



大正5年創業の(株)小栗農園、小栗崇利氏の報告でした。お茶の生産、加工、販売から研究開発と幅広く事業を展開する中、昨年父である社長が突如他界。事業継承の現実にはぶつかります。

話し合いを重ね、小栗氏が常務取締役、兄が取締役社長に就任。二人三脚で会社経営、継承に取り組む中、関わる人達の協力と支えに助けられ「ヒト、モノ、カネ」の論点からたくさんの学びを得ました。入会后、経営指針を創る会に参加して経営理念を見つめ直し、新たな理念、指針を作成しました。バズセッションでは「もし、あなたが今、倒れたら会社はどうなりますか？」の問いかけに参加者それぞれの視点から討論しました。小栗氏の報告から伝わる、事業継承の重要性と問題点、人との繋がり大切さと感謝の気持ちをふまえ、改めて事業継承のあり方を見つめ直すことが出来ました。同じ境遇で継承した方や後継者で承継はこれからの方、進行中の方と意見を出し合うことで、今後の取り組みに役立つ会になりました。現実問題、私が倒れたら会社は終わりです。あなたの会社はどうですか？

中村 功尚氏 (NK設備・榛原支部)

榛原第2例会

社員と共に歩む経営道~俺がやらねば誰がやる~

3月24日(金) さざんか 参加67名

中川泰典氏 (遠州工機株) の報告でした。遠州工機株は板金機械製造業を主とした会社です。中川氏はもともと金融業界にいましたが、転職のタイミングと父親である先代社長のご病気が重なり、同社に入りました。しかし、当時は借入が多く、



従業員も7割近くが50代から60代。中川氏は、借入金返済のリスケジュール、在庫処分、環境改善をはかろうとしますが、売上は伸びませんでした。そんな

とき、県の経営指針を創る会に参加し、当事者意識の薄さという自分自身の問題を悟ります。中川氏は、経営改革の肝は自分改革であると気づき、現在、営業と現場がうまく連携できるようなコミュニケーションづくり、若手社員の育成に取り組んでいます。

バズセッションでは、社員との思いや技術の共有について討論しました。世代間だけでなく、女性従業員が多い会社などでも思いを共有することの難しさがあるようで、皆が苦勞している課題であると実感し、学びの多い例会でした。

佐藤 麻妃氏 (司法書士法人 つなぐ・榛原支部)

中遠例会

新しい仲間と経営について学び合う

3月16日(木) ワークピア磐田 参加14名



今回の報告は入会間もない2名の方でした。

一人目は、藤井陽介氏 (有)藤井建築) です。同友会への入会の経緯や仕事への思い、自社の試み・仕事の幅・強み・弱みを報告しました。「25歳から大工として働いているが、もっと早くこの世界に入れば良かった」という内容が印象的でした。

バズセッションでは、経営理念について会歴の長い先輩会員が、自社の経営理念を作った経緯を語りました。藤井氏にとっても自社の経営理念を振り返ることが出来、より素晴らしいものに変えていくきっかけになったと思います。

二人目は、榊田義高氏 (マスダテクノ株) で、題は「本当の経営者になるために」でした。自分の生い立ちや自社の経緯、グッドデザイン賞を2回受賞した華やかな日々から、大失敗により経営に行き詰まった事を報告しました。厳しい状況の中で、奥様から言われた感謝の言葉が、今でも忘れられないとのことでした。私もその言葉を聞いて涙ぐんでしまいました。その後は順調に受注も増え、工場移転や新たな人材確保の目標もあるようです。

会歴のまだ浅いフレッシュな2名の報告者に、多いに刺激された例会でした。

竹山 城次氏 (竹山社会保険労務士事務所・中遠支部)

同友会イントロセミナー IN 静岡

3月23日（木） 同友会事務局 参加21名



グループ討論の様子

本年度の増強目標を目指し、皆さんが頑張っておられる中、女性経営者交流会としても何かお役に立てればと思い、イントロセミナーを企画しました。6月に富山の全国女性経営者交流会で報告者を務める梶川久美子氏（㈱サツマ電機・沼津支部）が「同友会と私」というテーマで報告しました。



梶川 久美子氏

社長就任3ヶ月、お父様が築いてきたものを大事にしながらか、ご自分のアイデアも取り入れ、社員さんたちとコミュニケーションを取り、社長としての夢とビジョンを語ります。「それが社長としての仕事」と力強く話される梶川氏の発表を、5名のオブザーバーも聞きながら聞いていました。その後のバズセッションでも積極的に意見を言って下さり、セミナー終了後には2名の方がその場で入会を表明しました。3名の方達も地元の例会に参加し前向きに検討して下さるとのこと。大成功のイントロセミナーとなりました。

北條 由美子氏（㈲伊東住設・静岡支部）

連載 Seinenbu Tsushin 青年部通信

第1回



「青年部って何しているの？」設立から約1年、こういった声を耳にするようになりました。そのような今、ここで情報発信できることに感謝しています。県青年部の初代部会長を拝命することになった私

も、以前は青年部が全国に存在していることも知りませんでした。むしろ同友会に青年部は不要だと考え、そこに疑う余地すら無かったです。そんな青年部不要論者の私を一変させたのが、一昨年の青年経営者全国交流会in山梨。この2日間で人生が変わりました。

それまでは妥当な経営目標や方針を掲げ、挑戦しているつもりでいました。出来て

いない結果を直視せず、逃げて言い訳ばかりしていました。そして、一番の問題だったのは、そんな弱い自分自身の姿に気づいていなかったことでした。この気づきから自分の“在り方”を変えたいと純粋に思いました。もっと大きな“志”をもって実践したい。そんな経営者で在りたいと考えるようになりました。

青年部だからできること。同年代だから気づかされること。ダイレクトに感情に響くものがあります。世界に誇れる日本の未来を創ることを責務とし、本気で経営に取り組んでいる仲間が全国にいることを知りました。つまり、青年部とは3つの目的を達成するための「ストイックな実践者の場」なのです。だから、静岡も「次世代の主体者が育っていく場」と、「切磋琢磨できる仲間」創りのために動き始めました。

寺田 卓正氏（㈱ニューウェーブ・志太支部）

先代からの技術を引き継いだ2代目の挑戦

(有)丸安ラジエーター工業所

代表取締役 忠内 秀敏氏 (沼津)

事業内容：ラジエーター、オイルクーラー、ヒーター他（自動車～建築機設計製作再生販売）油圧・水圧・高圧ホース製作販売・修理

創 業：1956年3月

社 員 数：5名

入 会：1993年5月

所 在 地：沼津市大岡45-6

T E L：055-963-0399

地域で唯一のラジエーター修理会社

(有)丸安ラジエーター工業所は今年で61年目を迎え、ラジエーターなどの各種熱交換器設計製作、修理において高い技術力を保持している企業です。先代の厳しい教えをしっかりと習得した賜物です。ラジエーター修理において日本全国では1000社ほどありましたが現在では200社程しかなく、沼津では1社だけとのこと。技術があればしっかりと生き残れる力強さを感じます。

客先の要望にスピーディーに応え、チャンスを作り出す

ラジエーター修理部品の一部分に高圧ホースが使用されていますが、その高圧ホースの修理・製作を頼まれた事をチャンスと考え、ホース製作部門を瞬時に立ち上げ、仕事の幅を広げるきっかけとなりました。外

部環境では海外品やネット販売の影響が強いと言いますが、今まで習得した溶接技術（アルミ・真鍮・プラスチック）は他社にまねの出来ないもので、メーカーからの引き合いも多く、これからの更なる発展を目指しています。



忠内 秀敏氏 (右)

3代目への思い

会社には息子さんが一緒に働いていて、現在技術習得中であり、将来は3代目として事業継承を考えていると言います。そして、更なる溶接技術でラジエーター工業界を牽引して行って欲しいと、若い力の可能性を信じたいとの事でした。

同友会での学びを中心にこれからの夢を語る

同友会歴は24年目を迎え多くの仲間と勉強してきて、異業種の観点からいろいろとアドバイスをもらいました。その中でひとに負けてはいけない心を持ち、これからの夢を追いかけたいと忠内氏は言います。また、溶接技術について、依頼があれば講師として広げたい、社会貢献してみたいと話しました。

取材・記事：片野 浩一氏 (有)弥生製作所・沼津支部)

オールマイティに対応できる建設業のプロを目指す

(株)旭建設

代表取締役 石川 哲也氏 (富士宮支部)

事業内容：一般住宅建築、一般建築、土木工事業、不動産取引

創 立：1971年

社 員 数：18名

入 会：2012年7月

所 在 地：富士宮市淀師1617-1

T E L：0544-26-9125

地域貢献する企業として

旭建設の歴史は、現社長の祖父が大工であり、その息子であった父が1971年に建設業として起業しましたがその後倒産を経験し、1989年に旭建設として再出発しました。現在は、中型建築を主体に保育園や牛舎、公共事業に取り組んでいます。また、地域貢献の一つとして、年に1回富士宮市の小中学校にトイレトパーパーを寄付しています。こうした活動の中から、富士宮市には障がい者の施設が不足していることを知り、2012年に福祉事業をスタートさせました。放課後デイサービスや生活介護などを主体としています。

入会のきっかけ

35才にして社長となり、特に年配の従業員との接し方に悩む日々の中、知り合いの同友会メンバーから入会を勧められて、例会にオブザーバー参加したのがきっかけでした。皆同じ悩みを抱えており、それが励みにもなり入会を決意しました。特に「ニッチな市場を狙え」という言葉に共感を覚えました。



石川 哲也氏

建設業のプロとして

現在の建設業界は、相見積りにより値下げ合戦になりがちで、利益が薄くなっているのが現状です。昔は仕事を選んでいた業者もありましたが、そのような壁を取っ払って、土木も建設も、建設でも工場や住宅など、オールマイティに対応できる建設業のプロでありたいと思っています。

石川社長は、同友会で学んでいることを仕事に活かし、試行錯誤しながらも前進している気概を感じました。

取材・記事：金子 佳正氏 (金子石材滝戸・富士宮支部)

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数1066名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
伊東ゆうなぎ法律事務所 弁護士(民事、刑事、家事、倒産)	伊東 守谷 匡司	伊東 守谷 匡司	
(有)勝又重春設計事務所 建築設計業(建築物の設計・工事監理業務、都市計画・地方計画・市街地再開発、リゾート計画・景観計画の立案・コンサルタント業務、環境整備に関する調査・企画・コンサルタント業務、不動産の賃貸・管理)	御殿場 矢後 芳昭	御殿場 矢後 芳昭	
(株)トップ 御殿場営業所 保険業(損害保険・生命保険の販売・管理・事故対応、終活やBCP等の総合生活・事業貢献の実施)	御殿場 鎌野 泰幸	御殿場 鎌野 泰幸	
ピクシス 各種商品卸売業(観光土産品を売店やツアー会社に卸売、折り込みチラシ、DMなど集客ツール作成)	三島 長岡 善章	三島 長岡 善章	
クリーンライフ(株) 生活関連サービス業(家屋害虫駆除、移動布団乾燥、白アリ駆除工事、床下環境改善工事、こん虫等駆除工事(ゴキブリ、クローリ、ダニ、ハチ等))	沼津 長岡 善章	沼津 長岡 善章	
東和自動車販売商会 自動車整備業(新車、中古車販売、車検、钣金、塗装、損保、生保、小額短期保険)	沼津 西鉢 亮貴	沼津 西鉢 亮貴	
(有)海老鮮 食料品製造業(食品製造・卸、レストラン運営など)	沼津 藤原 博美	沼津 藤原 博美	
三島信用金庫 金融業	沼津 藤原 博美	沼津 藤原 博美	
(株)シングウ技研 電気機械器具製造業(電機機器の制御機器部品、血液分析機の機構部品、血輪バッグの製造ラインの部品、農機具部品の加工全般など)	沼津 梶川久美子	沼津 梶川久美子	
はなばな パン製造(パン製造、販売、弁当製造、販売)	沼津 堀内あすか	沼津 堀内あすか	
(株)山春建設 建築工事業(住宅の新築・リフォーム、設計施工、「エアコン一台で家中快適、自然素材にこだわった空気の流れいな家造り」)	沼津 堀内あすか	沼津 堀内あすか	
毎日牧場 飲食店(ステーキハウス)	沼津 藤原 博美	沼津 藤原 博美	
(株)仕出しおがわ 仕出し料理業(個人と事業所の給食(昼食・夕食)の製造と宅配、仕出し料理(各種行事)の製造と宅配、富士市「食」の自立支援事業委託)	富士 小川 敬一	富士 小川 敬一	
ラウンズコミュニケーション(株) 不動産業(不動産仲介業)	富士 出口 明利	富士 出口 明利	
エコフィールド(株) 建築業(新築、リフォーム、ガーデニング工事)	富士 前島 章則	富士 前島 章則	
magic print デザイン・印刷加工業(企業経営に必要な様々なデザインの製作)	富士宮 中村 仁	富士宮 中村 仁	
(株)山口建材店 建材業(左官材料販売、配達、生コン、エクステリア販売施工)	富士宮 朝日 康典	富士宮 朝日 康典	
(有)東伸工業 自動車部品製造業(自動車エンジン周りの試作部品・治具、金型用冷却ジャンクション・LSユニット、空調用試作部品・治具)	富士宮 朝日 康典	富士宮 朝日 康典	

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
富士宮さくや塾 学習支援事業・教育事業(学習に困難を抱える小中学生を対象に無料で学習支援、相談など)	富士宮 稲原 研	富士宮 稲原 研	
(有)ワタナベ 自動車用品販売取付け(タイヤ、ホイール、マフラー、足回り取付け、ETC)	富士宮 簀 威頼	富士宮 簀 威頼	
3H・育士研究所 製造業(農業資材の製造・販売)	静岡 青山 達弘	静岡 青山 達弘	
(株)久保田石材 墓石加工販売(墓石製造販売、記念碑モニュメント、墓石改修工事、戒名字彫り(追加彫り)、花筒の交換(ステンレス製)、墓石の名家変更、塔婆立の交換、組み直し工事、墓じまい、お墓参り代行)	静岡 齋藤 寧	静岡 齋藤 寧	
(株)セイユウ機工 機械等修理業(機械用刃物の再研磨、研磨材の販売)	静岡 佐藤 眞己	静岡 佐藤 眞己	
関谷法律事務所 弁護士	静岡 知久 正博	静岡 知久 正博	
長澤瓦商店 屋根工事業(かわらぶき工事、板金工事、リフォーム工事、太陽光設置工事)	静岡 橋本 和幸	静岡 橋本 和幸	
(株)静掃舎 総合ビルメンテナンス	静岡 井上 斉	静岡 井上 斉	
(有)牧田製作所 建設業(テント構造物設計、製作、施工)	静岡 大多和宏明	静岡 大多和宏明	
共和法律事務所 弁護士	静岡 知久 正博	静岡 知久 正博	
M・T・S 建設業(宅地販売前の造成工事、テント設営工事(サッカー、フットサル場工場地内倉庫など))	静岡 望月 宣典	静岡 望月 宣典	
森本パレエ研究所 パレエ教室(クラシックパレエ、モダンパレエ、コンテンポラリーダンス、K'sProというプロダンス集団を結成している)	静岡 事務局	静岡 事務局	
(株)ハチマル ハーネス製造、醤油醸造(各種ワイヤーハーネス製造・販売、醤油醸造・販売)	榛原 鈴木 雅夫 増田 貴士	榛原 鈴木 雅夫 増田 貴士	
(有)安心総合保険事務所 保険業(生命保険、自動車保険、火災保険など各種保険の販売)	中遠 宇佐美健介	中遠 宇佐美健介	

名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名	所属支部	旧名義人
勝侯 貴志 オートアシスト&サトーレッカー(株)	御殿場	御殿場	佐藤 章
長島 和彦 (株)長島文宝堂	御殿場	御殿場	長島 晃一
(株)キョーフ	沼津	沼津	福田 雅一
永井 昭 社会福祉法人復泉会	浜松	浜松	永井 忍

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」にアップします。e.doyuからのご確認をお願い致します。

友達の輪 第37回

村松秀昭さんからバトンを受け取りました、同じく静岡支部の吉川真実と申します。村松さんとは経営指針を創る会12期の同期で一緒に学んだ仲間です。私は清水区でシール印刷業を父から事業承継して約15年たちます。一主婦から経営者になった私は指針を創る会1期に参加し、そこで生まれて初めて人として、経営者として大事な考え方を学びました。しかし私はそこで創った「経営指針書」を実践しきれず、消化不良のままに10年以上が過ぎてしまいました。会社の継続だけは、出来てきたものの、人を育てる事ができません。自分に自信も持てなかったです。私もどどん年をとってこのままでは10年後20年後の未来を描く事ができません。もう一度若い方々に混じって自分を鍛え直そうと思い再び12期の経営指針を創る会に参加しました。厳しい指摘も受けましたが、「今まで継続してきた事にもっと自信をもった方が良い」と励まして頂き、社員と共に成長していこう、今度こそ指針書の内容を実践して良い会社にし、事業承継するまで「やりたい」という気持ちで毎日を過ごしています。この10年以上同友会に身を置き指針を創る会の方々はもちろんの事本当に多くの会員の方々から学ばせて頂いたからこそ、今こうやって会社を存続できていると改めて痛感しています。次のバトンを渡すのは沼津支部の長岡善章さんです。創る会1期で一緒にした仲間です。よろしくお願ひします。



吉川 真実氏

吉川 真実氏 (保坂シール印刷(株)・静岡支部)

同友会 三つの 目的

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。
2. 同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
3. 同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。